

「第13 回都城高専おもしろ科学フェスティバル」 開催にあたってのごあいさつ

独立行政法人国立高等専門学校機構
都城工業高等専門学校
研究・地域連携主事(副校長) 岩熊 美奈子

都城高専にお越しいただき感謝申し上げます。今回の開催で「都城高専おもしろ科学フェスティバル」は13 回目の開催となりました。

都城高専は、中学校を卒業したあとに入学できます。高専には機械工学科、電気情報工学科、物質工学科、建築学科の4学科があります。入学した後は、高校生や大学生が学ぶ勉強を学びながら、同時に、工学の技術と理論を学びます。5年間の勉強が終わったあと、もっと研究や勉強をしたいと思ったら、あと2年間、専攻科に入学することで5年生から始めた研究を続けることができます。専攻科の修了生は大学の卒業生と同じ[学士]という学位を取ることができます。

都城高専では、最先端の研究をしている先生たちが、高専生と一緒に勉強をしたり、実験をしたり、研究をしたり、部活をしたり、笑ったり泣いたりしています。先生たちの多くは[博士]の学位を持っています。先生たちもまた、研究者なのです。卒業生は、新しい車や飛行機やロケットの設計や開発、アプリやゲームの開発者、新しい薬などの合成、一級建築士になって大きな建物の設計などを手がけています。また、高専の卒業生の中には大学や大学院に進学して[博士]になり、大学の先生になったり、国立の研究所で研究を続けている卒業生も少なくありません。多くの卒業生は世界中で活躍しています。工学・技術に国境はありません。

今回のおもしろ科学フェスティバルでは高専の先生と学生が、最先端の技術をみなさんにわかりやすく、そして、楽しく体験してもらえるように工夫をこらしています。この体験を通じて、私たちの生活の中に、「科学技術がこんなにもあふれているんだ！」という経験をしていただきたいと思っています。そして、皆さん自身が未来を創造する世界にはばたく科学技術者を目指すようになっていただきたい、そのような気持ちでこのフェスティバルを開催しました。

終わりになりましたが、本フェスティバルを開催するにあたりご支援をいただきました多くの企業・団体様に、心より御礼申し上げます。